健康福祉サービス第三者評価結果　公表　共通様式

1　事業者情報

福祉サービスの種別	特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）
事業所名	特別養護老人ホーム 藤のれん
代表者氏名（管理者）	施設長　枝 秀樹
法人名	社会福祉法人 光養会
定員（利用人数）	40名
施設・事業所　所在地	滋賀県高島市安曇川町下小川127番地1
TEL	0740-32-1515
FAX	0740-32-4124
電子メール	
ホームページアドレス	

2　第三者評価機関

第三者評価機関名	一般社団法人 介護・福祉・社会的養護 第三者評価機構
評価実施期間	令和8年7月21日・7月30日

3　評価の概要

○　総合評価

特別養護老人ホーム 藤のれんは、高島市安曇川町にあり、同じ法人が運営するふじの里・なごみの家とは別敷地の事業所である。ユニット型の施設で、開設から日が浅く、第三者評価は今回が初受審となる。法人理念は他の 2 施設と共通で、近江聖人・中江藤樹の「五事を正す（貌言視聴思）」を職員の基本姿勢とし、携帯用クレドカード、藤樹書院での人権・倫理研修等を通じて全職員に浸透が図られている。記録・情報共有については、見守り機器、インカム、介護ソフトの統一運用により充実が図られている。医療との連携では、病院との医療・介護連携を進めているほか、本体施設が水害想定区域にあることから、市担当課の指導のもとで水害時緊急避難計画を策定し、本体施設と合同で訓練を実施している。

○　特に評価の高い点

・開設前の準備期間に他施設での合同実務研修を実施し、基本ケアの標準的なやり方を固めてから着任させることで自己流を防ぎ、多様な経歴の職員が集まるなかでの標準化を実現している。
・適切で正しい口腔ケアを実施することで、誤嚥性肺炎ゼロを目指す「誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト」（看護師がイラスト入りの詳細な実施計画書を作成し体系的に運用。誤嚥性肺炎が減少）に力を入れている。
・ICT の早期定着（記録システム、LINE WORKS、見守りカメラ、全職員分のインカムのチャンネル分けをせずに運用し、毎朝の朝礼・申し送りを各ユニット・階で同時に把握できる体制）を図っている。
・多様な在留資格の外国人職員の受入れと定着支援（ビザ更新や住宅・保険等の生活支援、携帯端末への翻訳アプリ導入、写真・ルビ付きの手順資料、多言語対応の急変時フローチャート）を実施している。
・「防災・福祉避難所」を立ち上げコンセプトの一つとし、補助金により自家発電装置を整備。地域自治会と合同の避難訓練を実施し、災害時の体制づくりとともに地域との支援・協力関係を築いている
・じょくそう、排泄支援における多職種連携（皮膚・排泄ケア認定看護師が週 1 回来所し、管理栄養士も加わって栄養面からの支援。認定看護師による実技研修も実施）を実施している。
・施設内の看護職員、介護職員をはじめ各専門職を割り当てたメンバーで構成する各種委員会や会議（サービス向上、排泄ケア、入浴ケア、食事ケア、身体拘束虐待防止、リーダー会議等）によるサービスの向上支援を実施している。
・利用者が参加する「食事提供会議」等により利用者の声を聴き、食感・食事内容への要望等、生活の充実に結びつけている。

○　改善を求められる点

・食事中の誤嚥・窒息時の応急対応マニュアルは作成されているが職員への周知ができておらず、全職員が対応できる状態にすることが課題である（A-3-(2)-②＝b）
・内容評価では、食事中の誤嚥・窒息時の応急対応の周知徹底（A-3-(2)-②）

4　第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、初めて第三者評価を受審し、様々な意見と的確なアドバイスをいただきましたこと、大変感謝するとともに、あらためて自己評価では確認できない事項についても再考し見直す方向に舵をとることができたこと、更には、その他の項目を含め全体を確認する機会となったことは大変有意義であったと感じているところです。

今後、サービス提供を継続し、今まで以上によりよいサービスとするために、「誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト」等、良い評価をいただいた点を更に進めていくとともに改善点を是正し、今回「実施できている」として指摘のなかった事項を再確認するなどし、利用者の方々に安全に安心して利用いただけるサービスを提供できるよう全職員で取り組んでいきたいと考えています。

今後も、定期的に第三者評価を受審し、客観的視点を踏まえたサービス向上に努めていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

5　評価項目毎の評価結果

（　別　添　）